

✚ 看護の視点が 薬物治療を変える

看護薬理学 カンファレンス

2023 in 東京 The Nursing Pharmacology Conference
2023

2023 **6/18** (日) 9:00 — 17:00

WEB開催 & オンデマンド配信

カンファレンス終了後の2週間(6/19~6/30)はオンデマンド配信します

カンファレンス大会長



石毛 久美子

(日本大学 薬学部 教授)

脳梗塞治療薬研究の
スペシャリスト

参加費 3,000円

参加登録

参加申込: 事前登録必須

登録期日: **6月16日(金)**まで

受講対象

定員: **300名(先着順)**

看護職を主な対象としますが、看護職以外の方の受講も歓迎いたします。

※ 薬理学会非会員の方は、看護薬理学カンファレンスHPから事前申し込みの上、参加費のお振込をお願いします。

※ 薬理学会会員並びに第148回日本薬理学会関東部会の参加登録者は無料です。

2023 6/18 (日) WEB開催 & オンデマンド配信

プログラム

看護薬理学カンファレンス開会式 9:00~9:10

■ シンポジウム1 9:10~10:40

看護理学会との
共催シンポジウム

看護理工学×看護薬理学の
未来と可能性

座長：赤瀬 智子先生 / 四谷 淳子先生
(横浜市立大学 教授) (福井大学 教授)

- 『エコーを用いた誤嚥・咽頭残留観察から提案する
誤嚥を防ぐ薬の飲み方』
三浦 由佳先生(藤田医科大学)
- 『麻酔薬が概日リズムに与える影響』
眞鍋 千恵先生(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 看護師)
- 『経皮吸収型製剤使用時の
個人間差に対する基礎研究からのアプローチ』
楨原 弘子先生(横浜市立大学)

■ シンポジウム2 13:00~14:30

妊産婦のメンタルヘルスへの支援

座長：小黒 道子先生 / 相川 祐里先生
(東京医療保健大学 千葉看護学部・教授) (済生会横浜市東部病院・
公認心理師/助産師)

- 『周産期のメンタルヘルスケア・多職種連携
ー心理臨床の立場からー』
相川 祐里先生(済生会横浜市東部病院・公認心理師/助産師)
- 『周産期のメンタルヘルスケア
ー助産師の心理支援質向上に向けてー』
小澤 千恵先生(埼玉医科大学総合医療センター
総合周産期母子医療センター母体・胎児部門 助産師)
- 『妊産婦の睡眠問題に対するブレイクスルー：
認知行動療法の有効性』
岡島 義先生(東京家政大学人文学部 心理カウンセリング学科
准教授 睡眠行動科学研究室)

■ 特別講演 11:00~12:00

『看護学における産学連携』

真田 弘美先生(石川県立看護大学 学長)

日本助産評価機構による
「CLOCMiP® アドバンス助産師の認証申請
(選択研修)」に活用可能です

「シンポジウム2」「看護薬理学教育セミナー1」

■ 看護薬理学教育セミナー1 14:40~15:40

『妊婦・授乳婦における医薬品のリスクマネジメント』

合田 光寛先生(徳島大学大学院医歯薬学研究所
医学域 臨床薬理学分野 准教授/徳島大学病院 副薬剤部長)

■ 看護薬理学教育セミナー2 15:50~16:50

『重症患者に対する薬物療法の注意点
ー救急外来の対応・院内急変に困らないためにー』

今井 徹先生(日本大学医学部附属板橋病院薬剤部 技術長補佐)

閉会式 16:50

【参加登録】

参加申込：事前登録必須 登録期日：6月16日(金)まで

期日までに、ホームページ内の登録画面よりお申し込みの上、参加費の振込をお願い致します。(先着300名)。薬理学会会員並びに第148回日本薬理学会関東部会への参加登録者は参加費無料です。詳しくはカンファレンスHPでご確認ください。



お問い合わせ先

看護薬理学カンファレンス事務局

担当：宮崎大学医学部看護学科臨床薬理 柳田俊彦 宛

npc_info@pharmacol.or.jp

※メールの件名には「看護薬理学カンファレンス2023 in 東京」とご記入ください。

本カンファレンスは下記学会のサテライト企画として開催されます(前日に開催)

第148回日本薬理学会 関東部会 <https://pharmacology.pupu.jp/148kanto/>